

森林由来のJ-クレジット等の活用拡大に向けたセミナー及びマッチングイベント企画運營業務委託

回答日: 令和6年7月9日

No.	資料名	項目	質問内容	回答
1	業務仕様書	3 業務内容	(1)普及啓発セミナーについて 開催場所の条件(地域以外の条件)はございますでしょうか。	開催場所については、企業や団体が参加しやすい場所が望ましいと考えています。また、有識者や県内関係者等の参加を予定していることから、控室の確保や講演に必要となる機材(プロジェクター等)の確保及び利用が可能な場所としていただき、最終的に協議のうえ決定します。
2	業務仕様書	3 業務内容	(1)普及啓発セミナーについて 100者程度の参加目標は、オンライン配信も含めて、という理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
3	業務仕様書	3 業務内容	(1)普及啓発セミナーについて 代表者挨拶実施者・講義・事例紹介を実施する有識者・パネルディスカッション実施者は一部重複しても問題ないでしょうか。	業務の目的達成のために必要であれば、差支えありません。
4	業務仕様書	3 業務内容	(2)マッチングイベントについて 貴県においてどのような状態を「マッチング」と想定して記載されておりますでしょうか。	森林由来のJ-クレジット等の創出及び活用について各参加団体が持つニーズとシーズを個別相談等を通じて結びつけるための場をつくることを「マッチング」として想定しています。
5	業務仕様書	3 業務内容	(2)マッチングイベントの開催③開催内容のイについて 「個別ブースを設け、県内で森林由来のJ-クレジット等の創出に取り組むプロジェクト実施者と関心のある企業・団体の面談、森林由来のJ-クレジット等創出を検討している自治体及び関係団体と創出支援が可能な企業・団体の面談の場を設ける。」とありますが、こちらは県内の「森林由来のJ-クレジットの活用拡大」という目的があるため、最優秀提案者が主催で実施をするものではあるが、あくまで主体者である森林所有者が一番メリットを感じる企業と創出に向けて動いてよく、そこに制限はないという意味でお間違いないでしょうか？ 裏を返すと、弊社が仮に最優秀提案者として認定いただいたとして、競争になるというだけの個社的な意図で企業を故意に省くことはないかと認識してよいでしょうか？	受託者は本業務を県の事業として実施するものであり、マッチングイベントの参加企業・団体及び取組内容について、原則として「森林由来のJ-クレジット等の活用拡大」に資するものであれば制限はありません。そのため、受託者の意図により故意に特定の企業等を省くことはありません。 なお、「森林由来のJ-クレジット等の創出に取り組むプロジェクト実施者」、「森林由来のJ-クレジット等創出を検討している自治体及び関係団体」は県内の自治体及び企業・団体に限ります。
6	業務仕様書	3 業務内容	(4)その他実施業務③県が実施する関連事業との連携について 連携を具体的にご教示いただきたいです。 連携協定、収益性、コスト面で参加者にとってデメリットになるような意図は行政である以上、ないと考えておりますが、念のため、詳細を把握できればと存じます。	県では森林由来のJ-クレジット等について、金融機関等と連携した販売チャネルの強化のためのプラットフォーム構築を行う予定です。 ご質問いただいているような本事業で開催するセミナー及びマッチングイベントの参加者のデメリットになるのではなく、森林由来のJ-クレジット等の活用拡大に向けた相乗効果を生み出すための連携を想定しています。